

都市再生整備計画 事後評価シート
常滑中心地区

平成23年3月

愛知県常滑市

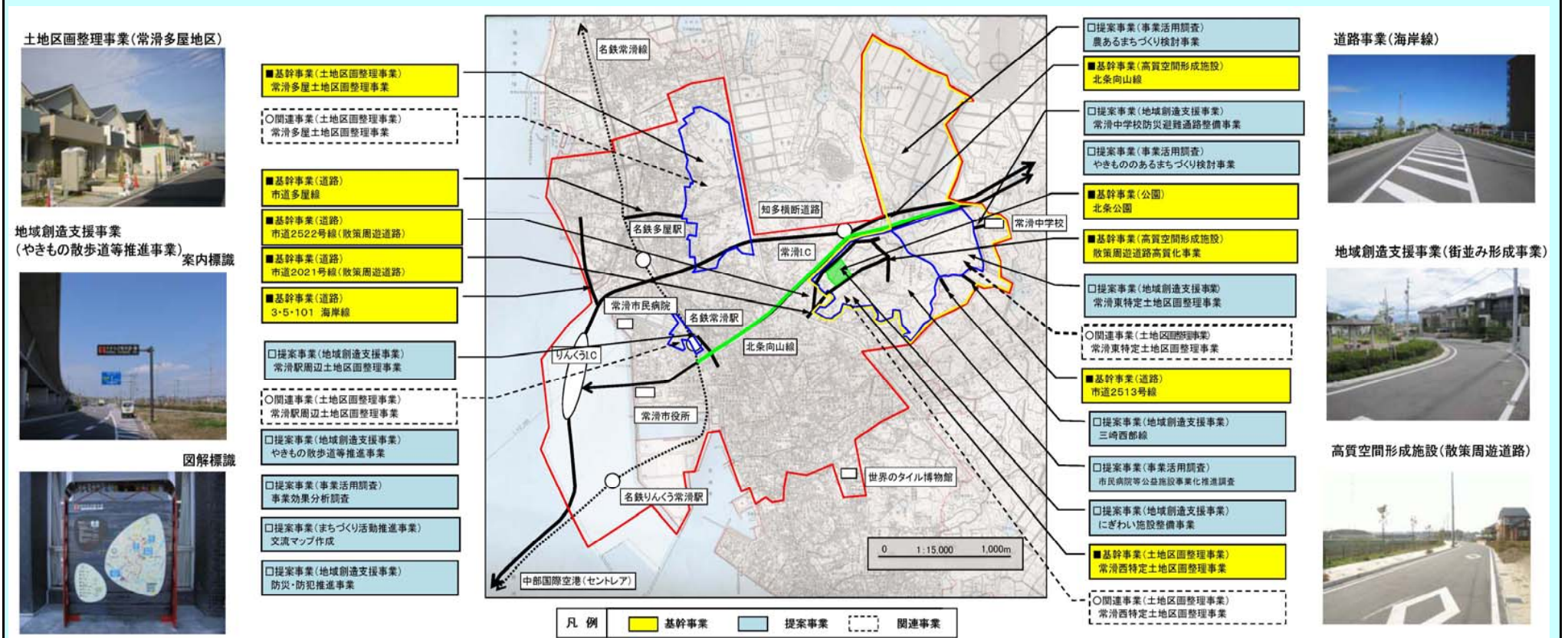
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	常滑市	地区名	常滑中心地区			面積	800ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2703	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道多屋線、3-5-101海岸線、市道2513号線、市道2021号線、市道2522号線)、高質空間形成施設(散策周遊道路高質化事業、北条向山線)、土地区画整理事業(常滑西地区、常滑多屋地区)									
		提案事業	地域創造支援事業(やきもの散歩道等推進事業、常滑中学校防災避難通路整備事業、にぎわい施設整備事業、三崎西部線、防災・防犯推進事業)、事業活用調査(農あるまちづくり検討事業、やきものあるまちづくり検討事業、市民参加型まちづくり検討事業、市民病院等公益施設事業化推進調査)、まちづくり活動推進事業(交流マップ作成)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	1公園(多屋公園、森西公園)、2地域生活基盤施設(散策周遊道路サイン整備事業)			1土地区画整理事業へ移行、2ニュータウン地区の街並みが完成するH23以降に事業を実施することにより効果が期待できるため。			1数値目標の影響なし、2定住人口の指標に影響するが、数値目標は据え置く。			
		提案事業	事業活用調査(1地域交通運行事業、2市民参加型まちづくり検討事業)、まちづくり活動推進事業(3中心市街地活性化専門家派遣事業、4空港関連市街地来訪促進事業)			1他の補助事業へ移行、2単独事業へ移行、3事業見直しにより削除、4ニュータウン街並みが完成するH23以降に実施するため削除。			1.2事業は実施され効果は変わらないため、数値目標は据え置く。3.4交流機能に係る指標に影響するが、数値目標は据え置く。			
	新たに追加した事業	基幹事業	公園(北条公園)			ニュータウン街並みが完成するH23以降に実施するため、関連事業から移行。			関連事業からの移行であり、その効果は当初から見込んでいるため、数値目標は据え置く。			
提案事業		地域創造支援事業(街並み形成事業[常滑東地区、常滑駅周辺地区])、事業活用調査(事業効果分析調査)			街並み形成事業:早期街並み形成を図るため、関連事業から移行事業効果分析調査:中心市街地活性化専門家派遣事業から一部移行。			関連事業及び他事業からの移行であり、その効果は当初から見込んでいるため、数値目標は据え置く。				
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					-			
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	定住人口	人	17,400	H17	18,300	H22	18,915	20,536	○	あり	H23.4
										なし	なし	
	指標2	駅の乗降者数	万人/年	410	H16	430	H22	419	408	△	あり	H23.5
									なし	●		
指標3	世界のタイル博物館 国外来館者数	人/年	280	H16	600	H22	493	625	○	あり	H23.5	
									なし	なし		
指標4	地区内立地店舗数	件	57	H17	76	H22	78	84	○	あり	H23.4	
									なし	なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	地区内観光施設来館者数	人/年	261,978	H16	/	274,372	325,588	/	/	道路事業及び散歩道等推進事業のサイン整備によるアクセスの向上、また交流マップ作成のほか、TV放映、映画ロケなどの総合的な常滑ブランドの情報発信により、相乗効果が発揮され、観光施設の来館者数の増加に寄与したものと考えられる。また、駅の乗降者数の増加にも寄与しているものと考えられる。	H23.5
その他の数値指標2	国際交流事業、講座・学習会の開催数	件/年	10	H16	/	31	53	/	/	空港の受け皿となる都市基盤整備が進み、国際交流の場の環境が整えられたことが、常滑市国際交流協会主催による交流事業、講座、学習会の開催数が増加し、交流機能の強化に寄与したものと考えられる。	H23.5	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 道路事業、土地区画整理事業などにより、優れた住宅・道路環境が形成され利便性、安全性が向上したほか、商業施設の増加により地区のにぎわいが創出された。 やきもの散歩道等推進事業、交流マップ作成などにより、とこなめブランドの知名度が上がり、映画又はドラマのロケ地として利用されるようになり、全国的な知名度がアップした。 											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	指標1～4に関するモニタリング(平成21年3月)				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	指標1、2、3については、毎年集計される統計資料から数値を把握する。
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
住民参加プロセス	公共施設等を活用したイベントを実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	今後、住民を主体とした活動を支援する。	
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

常滑中心地区(愛知県常滑市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標:世界に誇れる定住都市づくり~文化・地域資源・中部国際空港(セントレア)を活かした交流機能の強化~ 目標1:気候風土環境を活かし、住みよい防災機能を有した定住促進を目指す。 目標2:文化・地域資源を活かしたTOKONAMEブランドの継承と創造を目指す。 目標3:公共公益施設を充実し、交流活動を円滑にして、にぎわいやおもてなしのあるまちづくりを目指す。	定住人口	単位:人	17,400 H17	18,300 H22	20,536 H22
	駅の乗降客数	単位:万人/年	410 H16	430 H22	408 H22
	世界のタイル博物館国外来館者数	単位:人/年	280 H16	600 H22	625 H22
	地区内立地店舗数	単位:件	57 H17	76 H22	84 H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・空港開港に伴い道路環境などが大きく変化したが、道路事業、土地区画整理事業などにより優れた住宅・道路環境が形成され、利便性及び安全性が向上したほか、商業施設の増加により地区のにぎわいが創出された。また、やきもの散歩道等推進事業によるサイン整備、交流マップ作成などの情報発信により、常滑ブランドの関心が高まり、地区の交流人口が増加した。一方、新しい地区の住民の増加により、地元組織の強化を図る必要がある。また、やきもの散歩道などの観光客の増加に伴い、ゴミや路上駐車などに関する住民トラブルが発生している。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連事業の道路事業、土地区画整理事業の集中的な取り組みにより、地区の一体的な魅力ある街並みの早期完成を目指す。また、宅地の計画的な安定供給を図る。 ・防災・防犯機能の向上のため、防犯灯設置・取替え支援のほか、新地区の地元組織の強化のため、パトロール活動、交流活動を支援する。 ・やきもの散歩道以外の新たな交流の場を創出するため、常滑中心地区周辺の観光交流の場の創出を図る。 ・やきもの散歩道周辺区域において、観光客と住民が共存できる、安心・安全な環境形成を図る。 ・観光立市として、総合的な観光の取組み、特に体制面において観光のための維持体制の構築を図る。 ・地区の中心となる常滑駅周辺のインフラ整備を計画的に推進し、駅利用の促進を図る。